

がん化学療法レジメン登録申請書

診療科	血液内科	医師名	
PHS		E-MAIL	
がん種	悪性リンパ腫		
レジメン名	(AQ)MEAM療法		
臨床試験	その他		

根拠となった論文、資料(タイトル、著者名、雑誌名 等)

Retrospective evaluation of the MEAM regimen as a conditioning regimen before autologous peripheral blood stem cell transplantation for lymphoma in two centers with different dosing schedules of melphalan. Ann Hematol (2016) 95:1513-1519

研究デザイン

A	4 症例対照試験	B	3 Retrospective	C	3 サルベージ治療
臨床試験名		なし			
臨床試験グループ		自治医科大学グループ(自治医科大学+埼玉医科大学総合医療センター)			
研究対象となる症例		自家移植を施行した悪性リンパ腫			
研究対象となる治療方法		MEAM療法			
プライマリーエンドポイント		OS、PFS			
セカンダリーエンドポイント		なし			
結果	3年OS:77.3%、3年PFS:56.5%				
結論	MEAM療法は悪性リンパ腫に対する自家移植の前処置として有用なレジメンである。				

推奨度

エビデンスレベル	Ⅲ	勧告のグレード	B	グレード	準標準
----------	---	---------	---	------	-----

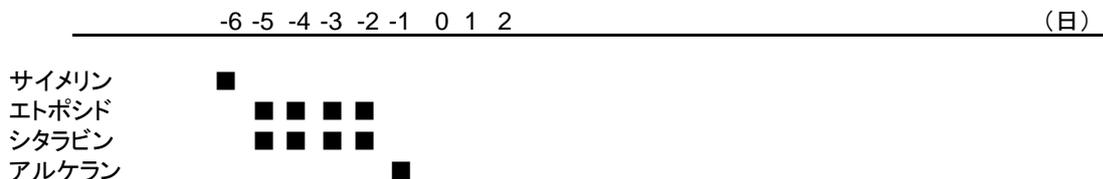
保険適応の無い薬剤

薬剤	備考

投与スケジュール

投与期間(①)	6日間	休業期間(②)	規定なし
1コースの期間(①+②)	規定なし		
投与回数コース	1コース		

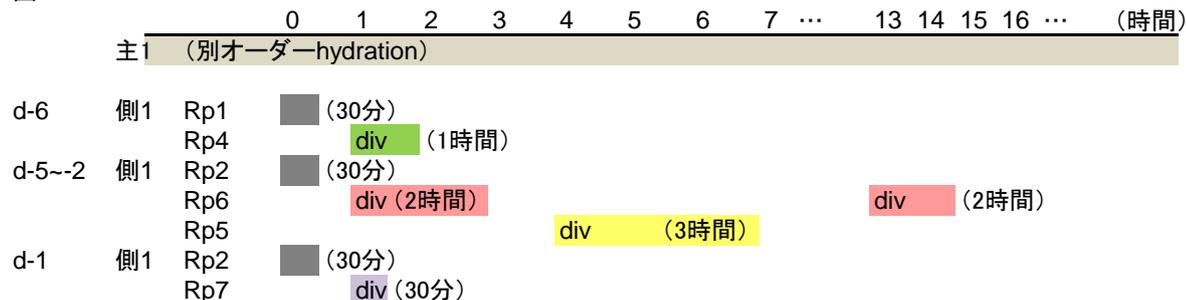
図



処方内容

Rp	薬剤	投与量	投与方法	投与時間(投与速度)	投与日
1	グラニセトロン	1mg	div	30分	day-6
	デキサート	9.9mg			
	生食	100ml			
2	グラニセトロン	1mg	div	30分	day-5,-4,-3,-2,-1
	デキサート	6.6mg			
	生食	100ml			
3	アプレピタント125mg	1Cp	po	化学療法前	day-6
	アプレピタント80mg	1Cp	po	朝食後	day-5,-4,-3,-2
4	サイメリン	300mg/m ²	div	1時間	day-6
	生食	100ml			
5	エトポシド	200mg/m ²	div	3時間	day-5,-4,-3,-2
6	シタラビン	200mg/m ² ×2回/日	div	2時間、12時間毎	day-5,-4,-3,-2
	生食	250ml			
7	アルケラン	140mg/m ²	div	30分	day-1
	生食	100ml			

図



副作用情報(頻度、対処法)

項目		頻度(G3以上)	対処方法(減量・中止含む)
血液毒性	発熱性好中球減少症	82.5-92.3%	G-CSF、抗菌薬、抗真菌薬
消化器症状	悪心	69.2-87.5%	予防: アブレピタント+5-HT3受容体拮抗薬+DEX 頓用: メトクロプラミド内服、プリンペラン静注など
	嘔吐	2.5-5.1%	
	下痢	20.0-46.2%	整腸剤
	口内炎	10.0-12.8%	MEL前クライオセラピー、口腔ケア
肝障害		2.60%	

根拠となる論文あるいは資料以外に参考にした文献・資料

造血幹細胞移植ガイドライン—移植前処置(第2版)

Safety and efficacy of high-dose ranimustine (MCNU) containing regimen followed by autologous stem cell transplantation for diffuse large B-cell lymphoma. Int. J. Hematol (2018) 108:510–515

備考

シタラピン投与中はフルオロメロン0.1%点眼(1日6回)を併用
ルート確保用を含むメインの補液に関して、通常オーダーとして対応するためレジメン外とする。

申請書受理	小グループ審査	審査委員会
2021/9/13	竹村、清水、下山、堀	2021/9/22
審査結果		
承認		

病院端末			薬剤部門システム	
登録	確認		登録	確認

薬剤部へ送付(pharmacychemo@hama-med.ac.jp)